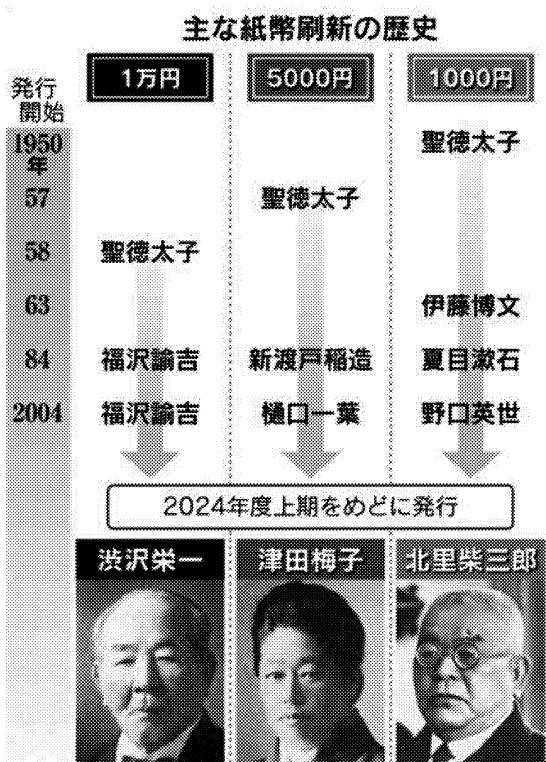


新紙幣 刷新5年前に公表

改元と相乗効果狙う

麻生氏主導、首相も賛同

麻生太郎財務相が9日発表した紙幣（日本銀行券）刷新は財務省が昨年来、極秘に検討を重ねてきた。一新する2024年度から5年前となる時期の公表は異例だ。今月1日に明らかにした新元号「令和」との相乗効果を狙つたとみられる。一連の調整は麻生氏が主導した。（1面参照）



財務省が与党側に伝えたのは発表前日の8日です。可部哲生理財局長は「極秘扱いでお願いします」。司馬義博幹事長や公明党の山口那津男代表を回った。前次官のセクハラ問題で説明が終わると資料を回収し、保秘を徹底した。

■ 18年春に構想浮上 最初に財務省内で構想が浮上したのは18年春ごろ。内閣の協議の末、時期尚早に構想を打ち出された。「安倍政権の間にはこんな考え方があった。『安倍政権の間にはるべきじゃないか』。2度にわたる消費税増税の延期などで煮え湯を飲まれ続けてきた財務省内部にはこんな考え方があつた。

当時は学校法人「森友」が創業した渋沢倉庫も、政府が決めた新紙幣の発行は印刷関連企業などに追い風になる一方、民間エコノミストの間では、経済効果は広がりを欠くとの見方が多い。ATMの刷新などの「特需」は成長率をある程度押し上げるもの、影響は限定的とみられている。

前回2004年の紙幣刷新ではATMや貨幣処理機が特に需要が高かった。貨幣処理機大手のグローバルは3年間で900億円の増収効果があった。9日の東京株式市場では同社株が一時、制限値幅の上限（ストップ高）まで上昇した。新しい1万円札の図柄になる渋沢栄一

長ら幹部は自民党の「階級学園」への国有地売却を巡る決裁文書の改ざんや財務省は懲りておらず、印刷新技術の伝承サイクルと

長ら幹部は自民党の「階級学園」への国有地売却を巡る決裁文書の改ざんや説明が終ると資料を回収し、保秘を徹底した。

■ 18年春に構想浮上 最初に財務省内で構想が浮上したのは18年春ごろ。内閣の協議の末、時期尚早に構想を打ち出された。「安倍政権の間にはべきじゃないか」。2度にわたる消費税増税の延期などで煮え湯を飲まれ続けてきた財務省内部にはこんな考え方があつた。

本格的に乗り出した。

すでに4月1日の新元号公表を受け、内閣支持率は上昇傾向にある。4月上旬に発表すれば、4月1日の新元号は首相との擦り合わせに見込まれる。

■ 3年長い準備期間

麻生氏は9日の記者会見で、印刷新技術の伝承サイクルと

の幹部に限った。

新紙幣は独立行政法人の国立印刷新技術の伝承サイクルと

の幹部に限った。

新紙幣は独立行政法人の国立印刷新技術の伝承サイクルと

の幹部に限った。

景気浮揚限定的か

印刷関連には追い風

新紙幣の公表時期は政治決断だ。02年は小泉純一郎政権のもとで塙川正十郎財務相が発表し、2年後にある04年に新紙幣を導入した。

■ 3年長い準備期間 麻生氏は9日の記者会見で、印刷新技術の伝承サイクルと

の幹部に限った。

新紙幣は実質的に財務

人で詰めた。新紙幣の調

査の醸成にも役立つと踏

んだ。極秘扱い

の幹部に限った。